

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	水産振興事業				事業番号	015-045	
担当部署名	産業振興局	局	農政部	部	農水産課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～		施策	(7)次世代につなげる農業の促進	
			有	取組の方向性	②持続可能な農業振興				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(2)飢餓をゼロに		ターゲット	2.3,2.4	
			有	取組	農業経営の基盤強化、スマート農業の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
2	関連計画			—					
3	事業開始年度			昭和 37 年度		点検対象年度（堺市基本計画2030）		令和 12 年度	
4	実施根拠			堺市水産振興対策事業補助金交付要綱					

事業の概要

5	事業の実施主体			本庁					
6	事業の対象			堺市、沿岸、出島、浜寺の漁業協同組合員				対象数	単位
								103	人
7	事業の目的			広域化した漁場内での安全操業、また、漁港周辺、漁場の定期的な清掃の実施による漁場保全及び啓発活動等を目的とし、今後予定されている第1種漁港である堺（出島）漁港及び石津漁港の移管に備える。					
8	事業内容			ゴミのない大阪湾での安全操業、漁業経営の安定、水域環境及び水産生物の保全のため、清掃活動に伴う人件費、清掃用具等の経費補助を行う。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容			—					
9	主な支出先			市内 4 漁業協同組合					
10	公民連携・協働事業			—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
	清掃活動従事者数（延べ人数）	人		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	1,300	1,300	1,300	1,300
			実績値	1,276	1,308		
達成率	98%	101%					
当該指標を選定した理由		清掃活動従事者数の延べ人数が事業目的の達成状況を測る指標として妥当					
目標値の設定根拠・算出方法		実績に基づき目標を設定					

12	活動指標	単位		実績		目標	
	漁船借上げ隻数	隻		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	70	70	63	
			実績値	62	63		
達成率	89%	90%					
当該指標を選定した理由		海洋プラスチックごみ等の回収作業時に使用する漁船借上げ隻数が活動状況を測る指標として妥当					
目標値の設定根拠・算出方法		実績に基づき目標を設定					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	水産振興事業	事業番号	015-045
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト				※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。				(単位：千円)			
13	財源内訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
			決算		決算		当初予算	決算	当初予算		
		事業費（a）	4,583		4,584		5,187	5,186	5,187		
		国支出金	0		0		0	0	0		
		府支出金	0		0		0	0	0		
		市債	0		0		0	0	0		
		その他（ 目的外使用料 ）	0		0		77	77	77		
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0	0	0		
		一般財源	4,583		4,584		5,110	5,109	5,110		
14	人件費（b）		1,620		1,620		1,680	1,680	1,740		
15	年間経費（c）=(a)+(b)		6,203		6,204		6,867	6,866	6,927		
事業費の内訳										(単位：千円)	
16	事業費内訳	項 目	年度		事業費	うち一般財源	項 目	年度		事業費	うち一般財源
		消耗品費	R7	決算	56	56		R7	決算		
			R8	予算	57	57		R8	予算		
		その他使用料及び賃借料	R7	決算	95	95		R7	決算		
			R8	予算	95	95		R8	予算		
		水産振興対策事業補助金	R7	決算	5,000	4,923		R7	決算		
			R8	予算	5,000	4,923		R8	予算		
		大阪府漁港協会負担金	R7	決算	25	25		R7	決算		
			R8	予算	25	25		R8	予算		
		捕鯨を守る全国自治体連絡協議会会費	R7	決算	10	10		R7	決算		
			R8	予算	10	10		R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費					
17		区 分	単位	令和6年度	令和7年度
	①	清掃活動従事者数（延べ人数）	人	1,276	1,308
	②	上記①にかかる年間経費	千円	6,204	6,866
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	4,862	5,249
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見		
18		世界的に海洋プラスチックごみが大きな問題となっており、大阪湾においても非常に多くのプラスチックごみが確認されている。これらの海洋ごみは、漁業の弊害となるものであり、漁獲量減少の一因にもなっており、毎年、多量のごみが浮遊・漂着等し、漁業の操業に影響が出ている。 令和7年度の清掃活動従事者数は、4漁協の協力により清掃活動従事者数は1,025人（達成率79%）であり、令和7年度は令和6年度と同等の目標値としたものの組合員数の減少などの影響により清掃活動従事者数が減少した。令和6年度に引き続き漁港の保全、海域環境の美化に効果をあげることができた。
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）		
19		魚種が豊富で良好な漁場であり、「茅渚の海」と呼ばれた大阪湾の環境が保全・回復されなければ、いずれ近海で獲れた新鮮な魚類が流通しなくなるおそれがある。非常に多くの海洋ごみが漁業の弊害となっている現状においては、SDGs17の目標14「海の豊かさを守ろう」を達成するためにも、漁場及び周辺の海域に浮遊するごみ等の定期的な除去を行う本事業の継続は必要である。
令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）		
20	必要性 ■ 高い □ 低い 有効性 ■ 高い □ 低い	ゴミや廃棄物が漁場に溜まると、水質が悪化し、魚や貝、海藻などの生育に悪影響を及ぼし、水産業への影響が大きいことからゴミの清掃活動に対して補助金による支援を行うことは水産資源を守り、漁業を持続的に行える環境形成に必要である。ゴミの清掃活動を実施することで水産資源を守り、漁業を持続的に行うための環境づくりに有効であると考えられる。